

令和元年度

元気な森林づくり活動支援事業

事例集

令和2年5月

茨 城 県

目次

(令和元年度事業)

1 森づくり

| | |
|--|----|
| いばらき森林クラブ（常陸太田市） | 3 |
| 沓掛峠の山桜を守る会（大子町） | 4 |
| 特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき（水戸市） | 5 |
| きらめ樹森の守り人（水戸市） | 6 |
| 水戸森林クラブ（ひたちなか市） | 7 |
| つくばフォレストクラブ（つくば市） | 8 |
| 青木ヤマザクラの会（桜川市） | 9 |
| 薬師樹林を再生する会（水戸市）（森林づくり+木づかい） | 10 |
| 特定非営利活動法人 里山再生と食の安全を考える会（つくば市）（森林づくり+木づかい） | 11 |

2 木づかい

| | |
|----------------------------|----|
| 茨城県建築士会 龍ヶ崎支部（龍ヶ崎市） | 13 |
| 特定非営利活動法人やみその森（つくば市） | 14 |
| 古河市建築組合（古河市） | 15 |

3 森林環境学習・森林づくり

| | |
|---------------------------------------|----|
| 城里パーマカルチャー研究会（城里町） | 17 |
| 特定非営利活動法人 古瀬の自然と文化を守る会（つくばみらい市） | 18 |
| 認定 NPO 法人穴塚の自然と歴史の会（土浦市） | 19 |
| 特定非営利活動法人 こが里山を守る会（古河市） | 20 |
| 結城里山の会（結城市） | 21 |

4 森林環境学習・木づかい

| | |
|---------------------------|----|
| 一般社団法人 茨城経営クラブ（水戸市） | 23 |
| もりとわ（ひたちなか市） | 24 |
| スタジオやさび（守谷市） | 25 |

1. 森林づくり

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | いばらき森林クラブ 代表 三村 玄 |
| 事業期間 | 令和元年5月1日から令和2年3月1日 |
| 主な事業実施場所 | 常陸太田市新宿町字山吹地内 ヒノキ林 |
| 事業の参加者数 | 延べ90名（1回あたり最大13名，最小6名） |
| 事業による活動実績 | 対象のヒノキ林は長年手入れされないまま放置されていたので，昼でも暗い場所になっていた。そこで，約1haの間伐，下刈り，小径木や枯損木の撤去などの森林整備活動を実施した。 |
| 事業の成果 | 活動の結果，林内が明るくなり，植生が増えて健全な林床となることが期待できる。また，この活動を通して森林整備の意義を再認識するとともに，混雑したヒノキ林での間伐作業において，団体内では新しい手法となる，ロープ掛けを取り入れるなど，会員の技術向上を図ることができた。さらに，西山公園を訪れた地域の人たちとの対話を通して市民活動の意識の高揚に寄与することができた。 |



林床の刈払い作業









ロープ掛けの様子



掛り木の処理



斜面での玉切り作業

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 沓掛峠の山桜を守る会 佐藤 晋 |
| 事業期間 | 令和元年11月23日から令和元年12月1日 |
| 主な事業実施場所 | 大子町 沓掛峠の山桜園内 |
| 事業の参加者数 | 延べ23名（1回あたり最大10名，最小3名） |
| 事業による活動実績 | <p>作業道の新設及び排水管の設置，下刈りや重機による倒木の集積及び撤去作業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業道の新設（w=2.5m L=70.0m） ・排水管の設置（φ=200mm L=28.0m） |
| 事業の成果 | <p>作業道が新設されたことにより，樹木の肥料散布，植樹など，園内に車両が入って行う作業の利便性が向上し，従来よりも広範囲の作業が行えるようになった。遊歩道としても活用され，山中を散策する来園者の安全が確保でき，昨年とは違った桜の景色を安全に楽しむ事ができた。排水管を設置したことによって，雨水を安全に排水することができた。</p> |
|  |  |
| 作業道施工前 | 掘削状況 |
|  |  |
| 碎石敷き込み状況 | 作業道施工完了 |
|  |  |
| 排水管理設状況 | 全景 |

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき 理事長 大場 国行 |
| 事業期間 | 平成31年4月1日から令和2年3月16日 |
| 主な事業実施場所 | 水戸市栗崎町大字原山 |
| 事業の参加者数 | 延べ 250 名（1 回あたり最大 43 名，最小 5 名） |
| 事業による活動実績 | 緑豊かな里地・里山・平地林を子供たちに引き継ぐため，木戸房池周辺の平地林において地元地域の 13 団体で連携して管理作業を進めた。平地林内の下刈り，園路造成，枯損木等伐採木の粉碎処理，チップ敷き均しなどを行った。また，野鳥が集う森を目指して，食餌木の植栽や巣箱製作・設置作業も実施した。 |
| 事業の成果 | 地域の町内会や子供会等の団体と連携することにより，幅広い年代の方が森林整備に積極的に取り組み，緑豊かな里地・里山・平地林の維持につなげることができた。また，野鳥の渡りに関する講演会や巣箱づくり，野鳥観察等の環境学習会を実施することにより，豊かな感性や命の大切さなど，自然に対する意識の醸成に努めた。 |



下刈り作業



園路造成作業



野鳥の渡りに関する講演会の開催



野鳥の餌となる樹木を植樹



巣箱作り作業



専門家の指導の下，巣箱を設置

| | | | |
|-----------|---|--|---|
| 団体名及び代表者名 | きらめ樹森の守り人 代表 西野 智子 | | |
| 事業期間 | 平成31年4月1日から令和2年3月22日 | | |
| 主な事業実施場所 | 水戸市上国井鹿嶋神社 | | |
| 事業の参加者数 | 延べ626名（1回あたり最大30名、最小2名） | | |
| 事業による活動実績 | 森林整備、間伐活動 45回 イベント開催、出店 4回 お話し会、プレゼンなどの広報、環境教育活動 10回 | | |
| 事業の成果 | <p>1年間を通して、626名の延べ人数で活動を行うことができ、多くの方々、特に子供たちに向けて、間伐の必要性、身近な森の木を使う重要性、森と海の循環などを理解してもらい、実体験を通してしっかりと心と体に身に付けることができた。</p> <p>森の中での体験活動は、日常とは別世界の空間であり、子どもも大人も時を忘れるほどの充実した体験を通して、地球環境への貢献意識を実感することができた。</p> | | |
| |  |  |  |
| | 間伐対象木の計測作業 | 間伐対象木の皮むき体験 | 子ども達も皮をむいた木肌に感激 |
| |  |  |  |
| | 上の方まで木の皮をむき感動 | 伐倒作業は現場研修を実施 | 活動が朝日新聞社定年時代に掲載 |
| |  |  | |
| | 森の感謝祭開催 70名参加 | 森の中や各地で説明会を開催 | |

| | |
|---|---|
| 団体名及び代表者名 | 水戸森林クラブ 代表 照山 圭吾 |
| 事業期間 | 平成31年4月14日から令和2年3月1日 |
| 主な事業実施場所 | ひたちなか市大字津田字下馬場地内 |
| 事業の参加者数 | 延べ30名（1回あたり最大12名，最小9名） |
| 事業による活動実績 | 今年度の活動場所では，面積の半分において，侵入した竹の伐採，チップーでの粉碎，雑木林の間伐等の森林整備作業を実施した。現地は多くの車が行き交う道路沿いの高台の急斜面のため，地域保全に貢献するために整備作業を継続していきたい。 |
| 事業の成果 | 森林整備作業の結果，用水路脇を走る道路からも良好な景観となり，地主さんだけでなく，地域住民からも喜ばれる里山林を復元できつつある。 今年度本事業により，チップーを導入でき，効率よく作業できた。個人またはボランティア団体だけでは限界があり，本事業を含む森林湖沼環境税のPRにも大きな実績になると考える。 |
|  |  |
| 最大人数の参加者集合写真 | 事業開始前の状況 |
|  |  |
| 6月はまずは草刈りから | 伐採した竹は粉碎機でチップ化 |
|  |  |
| 地主さんも率先して作業に参加 | 事業終了時の全景 |

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | つくばフォレストクラブ 代表 佐藤 定男 |
| 事業期間 | 令和元年5月22日から令和2年1月31日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市六斗 919, 921 |
| 事業の参加者数 | 延べ 51 名（1 回あたり最大 12 名，最小 8 名） |
| 事業による活動実績 | 長年放置された篠竹，倒木，枯れ木が多く荒れた暗い森になっていたが，明るい見通しの良い森に生まれ変わった事と，林内南北に二本の遊歩道が開通したため，周回で散策できることとなり多くの方が安心して散策できる森となった。 |
| 事業の成果 | 今回整備を行った，おぐろくの森は約 30ha あり，人工林はその一部に過ぎないが，森林整備の効果は大きく，林内歩道約 2km は住民等のウォーキング，バードウォッチャーが安心して森を利用できるようになった。 |
|  |  |
| 下刈り作業 | 伐木処理 |
|  |  |
| ツルの切断処理 | 倒木処理 |
|  |  |
| 集合写真 | 整備後のようす |

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 青木ヤマザクラの会 共同代表 廣澤光一郎 大関隆司 |
| 事業期間 | 令和元年6月1日から令和2年3月10日 |
| 主な事業実施場所 | 桜川市青木 1382 番地 |
| 事業の参加者数 | 延べ 111 名（1 回あたり最大 38 名，最小 4 名） |
| 事業による活動実績 | 竹密生地伐採後の下刈り及び伐竹，50 本を超えるヤマザクラとコナラ等広葉樹の植栽，獣害から植栽した苗木を守るワイヤーメッシュ柵の設置，散策道の整備を実施した。 |
| 事業の成果 | 下刈り及び伐竹，植栽の作業とともに，散策道を整備したことで，徒歩等による散策が可能となり，地域住民の憩いの場を創出することができた。 また，近隣地区の住民に対し，森林整備や植樹活動等を実施している旨を資料配布等で PR したほか，活動の様子を地域広報誌へ掲載したことにより，本事業の周知を図ることができた。 |
|  |  |
| 下刈り作業 | 苗木根巻 |
|  |  |
| 植栽する苗木 | 植栽の様子 |
|  |  |
| 苗木を守るワイヤーメッシュ柵の設置 | 散策道整備 |

| | |
|---|---|
| 団体名及び代表者名 | 薬師樹林を再生する会 会長 小田倉 康家 |
| 事業期間 | 平成31年4月1日から令和2年3月8日 |
| 主な事業実施場所 | 水戸市上国井町辻ノ内 |
| 事業の参加者数 | 延べ 200 名（1回あたり最大25名、最小10名） |
| 事業による活動実績 | 樹林内の整備は、枯木跡をパワーショベルで除去するとともに、1年間を通して延べ200名の会員で除草し、環境整備に努めた。しかし、10月の台風19号による浸水被害のため、薬師堂内の清掃や境内の災害ゴミ搬出に多くの時間を取られたが、薬師堂の木質化を予定通りに進められた。 |
| 事業の成果 | 樹林内の整備を適正に進めた結果、以前から薬師寺にあるサクラに加えて、平成30年度に植樹したサクラも開花し、「薬師寺花まつり」が継続して開催出来たことが最大の成果である。また台風19号による浸水被害からの復興として、薬師堂の木質化に加え、新たな園路を整備し、地元住民や那珂川堤防散策者に対して、木と親しんだ憩いの場を再び提供できた。 |
|  |  |
| 第2回薬師寺花まつりの様子 | 台風19号で浸水被害を受けた薬師寺 |
|  |  |
| 流されたベンチ・テーブルと泥の溜まった園路 | 新たな園路の整備作業 |
|  |  |
| 泥が付着した外壁を除去し、薬師堂の木質化を進める | 整備された園路と木質化された薬師堂 |

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利活動法人里山再生と食の安全を考える会 理事長 飯泉 孝司 |
| 事業期間 | 令和元年9月21日から令和2年2月15日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市中野地内 |
| 事業の参加者数 | 延べ117名（1回あたり最大27名，最小16名） |
| 事業による活動実績 | 都市近郊の里山の景観を保全するため，毎月第3土曜日に定例活動日として，下草刈りや枯損木の除去等の里山保全活動を実施するとともに，グリーンツーリズム事業の一環として，次世代を担う子どもたちが親子で楽しめる「きのこづくり体験教室」（原木しいたけの植菌・収穫体験）を実施した。 |
| 事業の成果 | 下草刈りや枯損木の除去等を行うことにより，里山の景観を維持することができた。また，きのこづくり体験教室を開催し，植菌体験や収穫体験を行うことにより，自然環境や森林の利活用についての興味・関心を深めることができ，森林を大切にす心の醸成が図られた。 |



植菌体験の様子



ほだ木の様子



収穫体験の様子



きのこづくり体験の様子



里山保全活動での集合写真



里山保全活動の様子

2. 木づかい

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 茨城県建築士会 龍ヶ崎支部 支部長 家富 秀一 |
| 事業期間 | 令和元年8月1日から令和2年2月5日 |
| 主な事業実施場所 | 龍ヶ崎市 龍ヶ崎商店街大通り「にぎわい広場」 |
| 事業の参加者数 | 延べ 300 名（1 回あたり最大 300 名） |
| 事業による活動実績 | 親子参加型のイベントで、茨城県の木材を使用した「木工作り体験」（本棚作り）を行った。建築士会会員 10 人と参加者 300 人で、準備していた 100 組の本棚を全て組み立てた。毎年実施しており、今年も大盛況で事故無く楽しい時間を共有することが出来た。 |
| 事業の成果 | 今回のイベントによって、親子のコミュニケーションを取ってもらえることができ、また茨城県の木材を使用することによって森林整備の大切さをアピールすることが出来た。昨年の参加者の方からも、この活動を長く続けて欲しいとの声もあった。 |
|  |  |
| 作成された本棚 | 集合写真 |
|  |  |
| 本棚作りの様子① | 本棚作りの様子② |
|  |  |
| 本棚作りの様子③ | 本棚作りの様子④ |

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利活動法人やみぞの森 理事長 石川 多聞 |
| 事業期間 | 令和元年7月15日から令和2年1月25日 |
| 主な事業実施場所 | つくば市島名交流センター |
| 事業の参加者数 | 延べ 105 名（1 回あたり最大 105 名） |
| 事業による活動実績 | つくば市及び土浦市の小学生とその保護者、計 105 名を対象に今回で 15 回目となる親子木工教室を実施。キットの材料には八溝山から切り出した県産木材を用いた。2 時間半の時間の中、親子でアイデアを出し合い協力してオリジナル作品を完成させた。 |
| 事業の成果 | 地域の木材を用いて「木づかい」を目的とした親子木工教室を通して、環境意識の啓蒙と創造性を培うとともに、親子のふれあいの機会を創出することができた。また、活動に対する参加者からの評価がとても高く、アンケートでは次年度も参加を希望する親子が 92%に上った。 |



集合写真



材料キットの準備作業



製作の様子①



製作の様子②



製作の様子③



表彰式の様子

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 古河市建築組合 組合長 塚原 茂 |
| 事業期間 | 令和元年11月2日から令和元年11月3日 |
| 主な事業実施場所 | 古河市公方公園内 |
| 事業の参加者数 | 延べ100名（1回あたり最大50名，最小50名） |
| 事業による活動実績 | よかんべまつり（商工祭）において，小学生を対象とした木工教室を実施した。組合員の指導の下，茨城県産材を用いた木製本棚キットを組み立てた。 |
| 事業の成果 | 木材に触れながらの作業を通し，包み込むような木の肌触りや温もり，優しい色味，触れ合った時の柔らかな音，思わず振り返る匂い等，木の良さを体感してもらえた。 また，木材の供給源である森の働きについて，説明を通して理解を深めてもらう事が出来た。 |



集合写真



木工教室の様子①



木工教室の様子②



材料キットの準備

3. 森林環境学習・森林づくり

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | 城里パーマカルチャー研究会 代表 井出 光弘 |
| 事業期間 | 平成31年4月1日から令和2年2月24日 |
| 主な事業実施場所 | 城里町 下古内 1204 |
| 事業の参加者数 | 延べ120名（1回あたり最大12名，最小1名） |
| 事業による活動実績 | <p>城里町内の未整備のスギ人工林において，森林の健康度調査を行い，調査の結果，間伐対象の木の間伐を行った。また台風被害による倒木の処理や下草刈りも行った。</p> <p>地域住民や子供達に対して，間伐材や林地残材を材料とした工作教室を実施した。</p> |
| 事業の成果 | <p>スギ人工林の整備作業を実施し，森林の機能回復に努めることができた。</p> <p>お話会や工作教室といったイベントを通して，参加者に森林の役割を理解してもらうことができた。また森を身近に感じてもらうことができた。</p> |



間伐対象木選木作業



皮むき間伐作業



下刈り作業



森林整備の様子



森林の役割等について紙芝居形式で学ぶ



スギ間伐材を用いた楽器（カホン）作り講習会

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利活動法人 古瀬の自然と文化を守る会 代表理事 寺田 義雄 |
| 事業期間 | 平成31年4月1日から令和2年2月29日 |
| 主な事業実施場所 | つくばみらい市筒戸地区・つくばみらい市寺畑地区 |
| 事業の参加者数 | 延べ250名（1回あたり最大100名，最小10名） |
| 事業による活動実績 | 東京都葛飾区の子供を含む都市住民が多数参加し，管理放棄された屋敷林や竹林の間伐等の森林整備や農村の伝承文化である「ドント焼き」を実施した。その結果，土地所有者，不在村地主などからの除伐や間伐等の森林整備の依頼が増加してきた。 |
| 事業の成果 | 都市・農村交流として，東京都葛飾区の移住者の参加者の賛同が得られた。その他に，間伐した竹林伐採での「タケノコ掘り」や自然観察会を開催，田んぼアートに参加する大学生の増加，市内のほかの団体との協業活動が活発になってくるなどの成果を挙げた。 |



間伐竹の測定



竹林の間伐の様子



間伐竹を用いたおもちゃ作り①



間伐竹を用いたおもちゃ作り②



交流活動の様子①



交流活動の様子②

| | |
|---|--|
| 団体名及び代表者名 | 認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会 理事長 及川ひろみ |
| 事業期間 | 令和元年7月1日から令和2年3月27日 |
| 主な事業実施場所 | 土浦市宍塚字栗崎 359 |
| 事業の参加者数 | 延べ 320 名 |
| 事業による活動実績 | 「生物多様性を求めた森づくりプロジェクト」を立ち上げ森林の調査、伐採、下刈り、観察会、落ち葉掻き等の活動を行い、また、映画『武蔵野』を上映して、里山林の持つ重要性を会員だけでなく地域社会一般の人にも知ってもらうことを実施した。 |
| 事業の成果 | 生物多様性が育まれる明るい森は、景観も浴なり地域住民の憩いの場、学びの場、遊びの場として利用され、また伐木は薪ストーブ使用者へ提供、集めた落ち葉で堆肥を作り畑作に利用する等、木材の利用促進もでき、また、映画上映会によって循環型農業の認識が深まった。 |
|  |  |
| 玉切作業の様子 | 下刈りの様子 |
|  |  |
| 森林整備後 | 集合写真 |
|  |  |
| 映画上映会の様子① | 映画上映会の様子② |

| | |
|---|---|
| 団体名及び代表者名 | 特定非営利法人 こが里山を守る会 理事長 蒔田睦郎 |
| 事業期間 | 令和元年5月1日から令和2年2月29日 |
| 主な事業実施場所 | 古河市稲宮地区 |
| 事業の参加者数 | 延べ 396 名（1 回あたり最大 104 名，最小 14 名） |
| 事業による活動実績 | <p>会員による里山整備のほか，地元小中学校の児童生徒等の参加による里山整備（伐採，集積，苗木植栽体験）を実施した。</p> <p>また，地元幼稚園・小中学校に対し，自然環境体験学習として，里山の恵み体験（山菜観察・採取，ドングリ拾い，椎茸の植菌，生き物調査等）も実施した。</p> |
| 事業の成果 | <p>地元の身近な里山を自然環境学習の場として整備し，児童・生徒参加の体験学習を毎年実施することで，学校も積極的に里山体験学習カリキュラムを組むようになっている。</p> |
|  |  |
| 倒木処理作業 | 里山整備体験（伐採木集積作業） |
|  |  |
| 苗木の植栽 | ドングリ拾い |
|  |  |
| 椎茸の植菌 | 里山の冬の生き物調査 |

| | |
|---|---|
| 団体名及び代表者名 | 結城里山の会 会長 海老澤功 |
| 事業期間 | 令和元年9月1日から令和2年3月21日 |
| 主な事業実施場所 | 結城市田間地内 結城市健康の森 |
| 事業の参加者数 | 延べ 383 名（1 回あたり最大 86 名，最小 8 名） |
| 事業による活動実績 | 里山の整備活動（間伐，枝払い，刈払い，倒木の除去等）を 11 回，子供たち参加の体験イベント里山発見レンジャー（落ち葉さらい，大鋸体験，森遊び等）を 2 回，地元小学校での授業支援（6 年生による植樹等）を 2 回行った。 |
| 事業の成果 | 子供達を対象とした体験活動の場として，里山を整備し，森での活動を実施することで，子供達の生活力向上，里山の意義や大切さへの理解を深めることができた。 また，活動を通じ，市民や他のボランティア団体の里山利用も増加している。 |
|  |  |
| 伐倒の様子 | 倒木処理作業 |
|  |  |
| 集積作業 | 森の清掃 |
|  |  |
| クヌギやコナラの植樹 | 大鋸体験 |

4. 森林環境学習・木づかい

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び代表者名 | 一般社団法人 茨城経営クラブ 代表理事 成田浩明 |
| 事業期間 | 令和元年6月1日から令和2年3月23日 |
| 主な事業実施場所 | ケーズデンキスタジアム水戸 |
| 事業の参加者数 | 延べ250名（箸づくり参加者：約70名 食育ゲーム：約50名 アンケート協力者：96名） |
| 事業による活動実績 | <p>予想を上回る参加希望者が列を作るなど、反響が大きかった。実際の参加者以上に関心を示した方は多数いた。</p> <p>水戸ホーリーホックの協力でHPにイベントの掲載をしていただき、会場での案内版等設置してあり誘導がスムーズだった。</p> |
| 事業の成果 | <p>展示パネルを見ながら、茨城県の林業（森林、漆の事等）について熱心な質問があった。</p> <p>マイ箸づくりを楽しみ、県産檜の木目や色、香りなどを身近に感じることができた。後日届いた塗り箸を毎日使っている等の感想も寄せられている。</p> <p>選手が参加してくれた食育ゲームでは、箸の持ち方等、真剣に取り組んでいた。</p> |



イベント会場前面の様子



家族で参加 山形のサポーター



子どもたちの食育ゲームの様子（選手も参加）



箸づくりの様子



漆塗り作業・作品展示



塗り箸と祝箸の違いを熱心に聞くサポーター

| | |
|--|---|
| 団体名及び代表者名 | もりとわ 代表 中野 敦子 |
| 事業期間 | 平成 31年4月1日から 令和 2年3月23日 |
| 主な事業実施場所 | ひたちなか市（正安寺，古民家またたび）那珂市（パルシステムなかセンター）ほか |
| 事業の参加者数 | 延べ926名（1回あたり最大100名，最小5名） |
| 事業による活動実績 | <p>「森」と「ひと」をつなぐ橋渡し役として、小学校の放課後児童クラブや小学校の親子授業など様々な場所で間伐材を使った木工体験教室、森のお話を開催したほか、各種イベントに出展し製作した木工品の展示・販売等を行った。また、会員の技術向上のため電動工具レッスンを受講した。</p> <p>令和元年10月に、材木店と共同開発した木製洗濯板「森のやさしいセントアク」が「いばらきデザインセレクション2019」に選定された。</p> |
| 事業の成果 | 木工教室やイベントの参加者に実際に手で触れながら、木のぬくもりや気持ち良さ、ものづくりの楽しさを感じてもらおうと同時に、日本と世界の森を取り巻く現状，森林の良さ・大切さ，林業（間伐）の必要性なども伝える活動ができた |
|   |   |
| 小学校放課後児童クラブ 鳴子づくり体験 | 小学校親子授業 森のクイズと 親子ペアチャームづくり |
|  |  |
| マイ箸づくり教室（パルシステムなかセンター） | 大工さんによる電動工具レッスン |
|  |  |
| 伐採後使い道のなかった端材を活かして製作した洗濯板 | いばらきデザインセレクション2019 授賞式 |

| | |
|-----------|---|
| 団体名及び代表者名 | スタジオやさび 代表 井上 岳 |
| 事業期間 | 平成31年4月13日から令和2年2月24日 |
| 主な事業実施場所 | 守谷市松並 1969 |
| 事業の参加者数 | 延べ82名（1回あたり最大25名，最小4名） |
| 事業による活動実績 | 石岡市八郷地区の間伐材で製作したパビリオンを，同市や守谷市の空き地を用いて展開した。また，展開したパビリオンの内外で，同じく八郷地区の丸太を用いたワークショップなど親子を対象としたイベントを実施し，さらに，協力いただいた地元製材所の見学ツアーを実施した。 |
| 事業の成果 | 地域での森林資源の採取から活用までの連なりを参加者自身が見て，体験する活動ができ，子供たちへの森林づくりや木づかいへの啓蒙もできた。とくに守谷市においては，市在住の親子へ向けた森林資源の活用についての意識づけや，魅力発信の一助となった。 |



製材所の見学の様子



パビリオンの材料



パビリオン作成の様子



皮むき，木配りイベントの様子



森林体験学習イベント①



森林体験学習イベント②